

# いなみ町 議会だより

No.78  
2018.7

## 第2回定例会

P2~P3 議案審議

P4~P8 一般質問(5名が登壇)

P9 委員会報告(総務産建常任委員会)

P10 4Hクラブ

# 議案審議

第2回定例議会が6月7日に開会し、6月14日に閉会しました。議案21件を慎重に審議し、全て原案どおり可決しました。

## 義務教育施設の積立基金

3億6533万円の増

### 質疑

今回の補正で、基金の合計は5億円程度となると思います。積立の目的は何ですか。

### 答弁II総務課長

現在、小学校の空調設備の改修を予定していますが、時期は未定です。

ただし、空調設備のみに基金の全額が必要とは考えていません。

次のステージ等に備えての積立も含んでいます。

## 耐震改修費

303万3千円の減

## 耐震ベット・耐震シエルター

53万2千円の減

### 質疑

平成29年度中の耐震改修の実績は何件ですか。

### 答弁II総務課長

耐震診断を受けたのが6件、うち耐震改修（建替え）したのが1件です。

### 質疑

耐震ベット・耐震シエルターの普及が進んでいないようですが、理

由を聞かせてください。

### 答弁II総務課長

圧迫感を感じて、「そんな中で寝られん」という人が多いようです。

## 橋梁長寿命化修繕

539万4千円の増

### 質疑

具体的に、どこの橋を修繕する予定ですか。

### 答弁II建設課長

奈良井（印南原）の小崎橋と、崎ノ原の軍道線近くにある横出橋です。

平成24・25年に立てた計画では、31の橋を修繕しなければならないとされました。今年度の当初予算では8つの修繕を予定して、残りがこの2つの橋でした。

今回の補正予算で、計画の全ての橋が修繕される予定です。

予算関係			中島	夏見	藤藪	前田	杉谷	玄素	岡本	藤本	古川	榎本	玉置	堀口
専決処分 の承認	H29 一般会計	・実績精算 ・平成30年度国保 会計予算からの、 平成29年度予算 への充用 など	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H29 国保事業特別会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H30 国保事業特別会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H29 介護保険特別会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H29 農業集落排水特別会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
H30年度 補正予算	H30 一般会計	・人件費の調整 ・切山公営住宅 跡地の売却 ・防災備蓄倉庫の 看板設置 など	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H30 国保事業特別会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H30 後期高齢者医療特別会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H30 介護保険特別会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	H30 水道事業会計		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

条例の改正等

国保税条例の一部改正について

● 基礎課税額

医療分の上限額が、現行の54万円から58万円に引き上げられます。

● 軽減対象の範囲拡大

世帯の合計所得が、次の額に世帯人数をかけた数+33万円未満なら、軽減対象となります。

【5割軽減】

27万円↓27万5千円

【2割軽減】

49万円↓50万円

● リストラされた場合

非自発的な理由で解雇された場合は、国保税の減額申請ができます。

この時、マイナンバーで情報を把握できれば、雇用保険受給資格者証の提示が不要となります。

質疑

医療分の限度額が増えましたが、介護分・後期高齢者支援分と合わせて、全体での最高限度額はいくらになりますか。

答弁II 税務課長

介護分は16万円、後期高齢者支援分は19万円です。医療分の58万円と合計して、93万円が最高限度額です。

質疑

今回の改正で、5割軽減・2割軽減の対象者はそれぞれ何人増えますか。

答弁II 税務課長

あくまで試算ですが、5割軽減で7名、2割軽減で3名程度が増える予定です。

税条例の一部改正について

● 個人住民税

・非課税の範囲拡大  
・前年の高所得者が各種控除を受けられないなど

● たばこ税

・加熱式たばこ等の区分新設  
・税率の段階的引き上げなど

質疑

これまで3級品たばこの税率は低く抑えられていましたが、今回の改正でどうなりますか。

答弁II 税務課長

3級品のたばこは、平成30年4月と平成31年10月に値上げされます。これにより、通常の紙巻きたばこの額に近づきます。

予算関係		中島	夏見	藤敷	前田	杉谷	玄素	岡本	藤本	古川	榎本	玉置	堀口
委員会 議決	印南町議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	2025年国際博覧会の誘致に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
条例改正	町税条例等の一部改正	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	町国保税条例の一部改正	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	町税条例等の一部改正	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約	工事請負契約の変更	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	工事請負契約の変更	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	工事請負契約	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
過疎地域自立促進計画の変更	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
損害賠償の額	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	



# 一般質問

榎本 一平 議員

## 太陽光発電 事業に関する 条例への 対応は

**質問** 近年、大規模な太陽光発電事業に対する住民の不安拡大や説明不足から、トラブルが発生しています。そこで、合計出力が50キロワット以上の太陽光発電事業を対象とする新しい条例が、6月22日から始まります。現在、印南町には太陽光発電事業の計画はありませんか。

**答弁** 生活環境課長 条例の対象となる50キロワット以上の事業計画はありません。

**質問** この条例に対する基本的な見解を求めます。

また、町独自の条例を作り、対応すべきと考えますが、見解を求めます。

**答弁** 生活環境課長

新条例により事業計画に制限がかかり、乱開発に一定の歯止めがかかるものと期待します。

町の条例の作成については、近隣市町の状況をふまえて検討したいと考えています。

## 学校給食費への補助制度の検討を

**質問** 学校給食費は、各小学校、中学校でそれぞれ異なっています。当町は、子育て世帯への支援に力を入れています。御坊・日高管内では、御坊市・みなべ町・日高川町などで

学校給食費への補助を行なっており、段々と増えてきています。当町も給食費への補助制度の導入を検討してはどうですか。

**答弁** 教育長

経済的支援としては、就学援助制度で給食費の無料・半額化の対応をしています。

「食」は親として子どもを育てる基本と考えます。「食」への感謝の心を育てる視点等を考えあわせる必要があると考えます。

現在、自校単独方式を最優先とし、補助制度は考えていません。

## 行政が扱う公文書の対象と扱いは

**質問** 森友・加計問題を通じて、公文書の隠蔽

や改竄・破棄などが発覚し、大きな政治問題になっていきます。議員は、日頃から文書に係わる機会が多い状況です。議会関係の公文書といえば、本議会の記録・常任委員会などの記録があります。

**答弁** 総務課長

行政運営で扱う文書は、何を基準に公文書扱いとするのですか。また、保管はどうされていますか。

職員が職務上作成し、または取得した文書・写真及びフィルム等であって、決裁・供覧等の手続きが終了し、実

施機関が保存しているものを公文書としています。

保存については、重要性により5種類の保存年限が設定されています。

**質問**

メールは、どの様な扱いにしていますか。

**答弁** 総務課長

県等からの文書は、ほぼ全てメールです。

町長から下の部署に供覧してゆき、それが終了した時点で初めて公文書として扱っています。



# ここが聞きたい!



岡本 庄三 議員

## 印南町の農業政策について



**質問** 当町は農業立町と言っていますが町独自の支援、補助事業は少ないように思います。国、県の事業に便乗しているだけです。新規就農や親の後を継いで頑張っている人を支援してあげられないのでしょうか。

**答弁** 産業課長 野菜花き産地総合支援事業を軸として町独自の上乘せや横出しが一番合理的と考えます。

**質問** 農地の利用計画についてであります。耕作放棄地が増えていきます。新規の後継者が耕作して頂ければいいのですが難しい事です。

農業振興地域なら農地としてしか売れないので相続しなければなりません。それを耕作する手立てを行う、又は、耕作放棄地の解消を考えておく必要があるのではないですか。

土地はあるのに活用されないこれを何とか解消できないのかと考えたときに農地利用計画、方針の見直しをして転用もしくは宅地として売買ができる状況にすればいいのではないのでしょうか。

**答弁** 産業課長

整備計画の全体見直しは必要と考えますが、極端な宅地化を誘導し、これまで実施してきた各種振興施策の効果を阻害してしまうことは回避しなければなりません。

法に基づく正確な現状分析をし、効果的な農業振興地域整備計画を見直す、その波及効果として優良宅地も整備される、バランスのとれた農地の利用を目的に、計画の見直しに取り組みたいと考えます。

## 補助金事務の適正化について

**質問** 平成28年度、29年度のカエルのフェスティバルへの出演団体への謝礼の一部未払い

金を29年度末に支払われましたが、28年度分について支払い方法に問題があるのではないのですか。

**答弁** 産業課長

平成28年度決算に係る監査委員の意見書においても、各種団体の補助金支出や予算執行については、厳しくご指摘を受けている中、繰り返しこのような事務処理、予算を軽視した財務処理がなされたことは深く反省しなければなりません。再発防止に努める所存です。

**再質問** 年間50億、60億

円の予算を扱う会計管理者と町長の見解もお聞きします。

**答弁** 会計管理者

適切ではないと考えております。

**答弁** 町長

こういったことのないように指示をしたところであります。





# 一般質問

玉置 克彦 議員

## 切目橋架け 替えの早期 完成を！

**質問** 切目橋は、昭和9年3月に建設され、

84年が経過しています。橋梁点検調査では、「緊急に危険である」と結果を受けております。

町が掲げる「犠牲者ゼロ」を目指すのであれば、早急に架け替えをしなければならぬと思っておりますが、いかがですか。

**答弁** 建設課長

切目橋の架け替えは重要な課題と捉え、有利な財源確保を求めながら、早期完成を目指したいと考えます。

**再質問**

地震が起きて津波が来るまで約20分と言われていますが、少なく

とも切目橋が残っていれば、切目小学校に避難できると考えます。私は、この切目橋は住民にとっての生命線・命の架け橋と考えますが、いかがですか。

**答弁** 建設課長

地元の皆さんの協力をいただきながら十分協議をして、早期完成を目指したいと考えます。

**再々質問**

地震は、いつ起こっても不思議ではあ



りません。

「備えあれば憂いなし」ということわざもあるように、起こってからでは遅いです。1日も早く調査・協議を進めて行かなければならないと考えますが、いかがですか。

**答弁** 町長

出来るだけ早く完成を目指したいと考えております。

## ビニールハウス 建て替えの 補助について

**質問**

ビニールハウスの被害に遭うケースが多く見受けられます。

平成28年12月22日、前線を伴った低気圧の影響で、印南町でビニールハウス25棟が全壊しました。私は、被害に遭われた現場を回らせていただきました。農

業をされている方が手塩にかけてきたのに、強風によってパイプハウスが壊れ、農産物がだめになる光景を見ますと、胸が張り裂ける思いでいっぱいになりました。

苦しい時こそ行政が手を差し伸べるべきと考えます。壊れたパイプハウスの撤去費用の一部を補助できないのかお聞きいたします。

**答弁** 産業課長

災害時の補助率の上乗せは、検討課題であると考えます。

**答弁** 産業課長

一定の補助は必要かと考えますが、現在の共済制度を利用する中で、健全な農業経営に努めていただきたいと考えます。



# ここが聞きたい!



藤越 利広 議員

## 災害復興計画について

**質問** 和歌山県が平成30年度中に作成を求めている、南海トラフ地震が起きた後の復興計画についてお聞きします。

平日の昼間に地震が発生した場合、印南地区においては、上野山の避難センターへ避難するように指導されています。子ども達やお年寄り、体の不自由な方など、さまざまな方が避難されます。避難ができてもすぐに自宅に戻れない場合、また自宅が被害にあっている場合、優先的に避難センターに寝泊りできるのは、どういった方ですか。

**答弁** 総務課長

性別、年齢を問わず、負傷されている方など、

必要に応じて必要な場所・建物内部を利用して頂く事になります。収容できる人数は、100人程度です。すべての被災者を収容することはできません。今後、必要に応じてテント等も準備していきたいと考えています。また、付近には農業用倉庫や農業用ハウス等もあり、いざと言う時にはそこを活用することも考えています。

**質問** 地震・津波の被害想定に基づいて、仮設住宅の建設計画（規模や場所等の計画）はできているのか、お聞きします。

**答弁** 総務課長  
災害救助法では、仮設住宅は県において対

**答弁** 総務課長

災害救助法では、仮設住宅は県において対

応することが定められています。町としては、建設場所の確保が急務で、それがスピードアップの第一条件です。現在、候補地は印南地区、切目地区だけではなく、全町内に8か所の町有地を確保しています。

その8か所で確保できる戸数は、350戸程度と考えています。量的には足りないかもしれないませんが、熊本地震などの実例から、賃貸住宅の一時借入れを行う「応急仮設住宅」という方法もあり、検討したいと思います。

**質問** 学校施設の中でも、印南小、中学校、切目中学校は海拔が低いです。被害を受けた場合、どのような計画を考えていますか。

**答弁** 教育課長

まず児童・生徒の安

否確認を実施します。

その後、児童・生徒・家族の被害状況や、校舎の損壊状況、ライフラインの復旧等を把握します。

同時に、学校の避難場所としての役割も考慮しながら、教育活動の再開を検討していきます。再開方法としては、

- ・ 臨時校舎方式
  - ・ 近隣校への合併方式
  - ・ 近隣校への分散方式
  - ・ 臨時通学方式
- 等を組み合わせ、短縮授業や家庭学習等の方策を検討しながら実施

していきます。教育活動の確保には、万全を期していかなければならないと考えます。

**質問** 他の自治体で、すでに計画を立てている自治体はありますか。

**答弁** 企画課長

県に確認しましたが、平成30年5月末現在で計画策定を完了している所はありません。





# 一般質問

玄素 彰人 議員

## 女性の健康 寿命・平均 寿命の向上 について

**質問** 和歌山県下における男性の健康寿命・平均寿命の第1位は、共に印南町です。一方、女性は健康寿命14位、平均寿命が8位と、男

性と比べると差があります。この差異をリサーチし、女性に的を絞った政策を実施してはどうですか。

**答弁** 住民福祉課長

男性・女性を問わず、新規事業を含め各種政策を実施することによって、健康寿命・平均寿命の向上を図っていきたいと考えます。

	性別	印南町		和歌山県の平均
		平均	県内順位	
平均寿命 (平成22年)	男	79.80 歳	1位	79.07 歳
	女	86.00 歳	8位	85.69 歳
健康寿命 (平成22年)	男	78.30 歳	1位	77.30 歳
	女	82.50 歳	14位	82.10 歳

※平成 29 年公表：  
和歌山県「健康わかやま推進提言書」より

## 高速バス駐 車場の拡張 について



駐車場の枠は 10 台

**質問** 高速バス駐車場について、日によっては、駐車スペースを超える車が停車している日もあります。拡張してはどうですか。

**答弁** 産業課長

現在のところ考えていませんが、乗降客数の推移なども含め、必要性に応じて検討していきたいと考えます。

## 旧庁舎の解体について

**質問** 遅れているように思いますが、解体はいつ行われるのですか。

また、財源はどうなっていますか。

**答弁** 企画政策課長

解体時期は平成31年度をめどに、財源は過疎債を軸に調整していきたいと考えます。



解体予定の旧庁舎





# 委員会活動報告

## 総務産建常任委員会報告

◎前田 憲男 岡本 庄三 古川 眞  
 ○藤敷 利広 榎本 一平 堀口 晴生  
 ◎委員長  
 ○副委員長

●テーマ  
 町道の改修保全について

日時 4月27日  
 場所 役場会議室・現地

説明員

建設課 藁科課長

片山課長補佐

尼田課長補佐

●研修の目的

当委員会では、今年度整備される町道について工事箇所と工事額、また、改良の必要性について、研修を行いました。

●主だった視察箇所

■町道殿平農免線

本町における本郷地区及び光川地区から一時避難場所までの避難路となる。

■町道峰ノ段下向い線

現況の幅員が2.2m。車両の対向、また大型車の通行が困難であり、災害時は迂回路として必要である。



殿平農免線



峰ノ段下向い線

■町道印定寺中学校線

通学路となっているが幅員が狭く、歩行者の安全確保のため改良が必要である。

■町道印南山口線

当町の中心地を走る主要路線であり、通行車両や歩行者も多く、早期整備が課題である。

整備箇所	事業費	うち交付金	工期
崎ノ原軍道線	3億7,060万		H23～31
峰ノ段下向い線	1億8,000万	9,000万	H29～33
印南西ノ地線	3億	1億6,500万	H29～31
殿平農免線	1億4,700万	7,350万	H29～31
印定寺中学校線	4,000万	2,000万	H30～32
印南山口線	8,000万	4,000万	H30～31
南谷山口2号線	4,641万7千	2,320万	H29～30
稲原道成寺1号線	3億5,600万	1億7,800万	H24～32
奈良井白河線	2億8,000万	1億4,000万	H29～32
林道本川西神ノ川線	2億1,290万	1億1,709万	H29～33
林道野々古川又線	1億2,000万	6,600万	H30～33

(委員長所見)

今回の調査で、町内各地区の道路改良状況を視察させていただきました。改めて、すべての箇所において生活のため安全のため必要であることを確認しました。

また避難道路に關しましては、災害時にパニックに陥らないように、速やかに避難できる道路を一日も早く完成させることが課題であると感じております。

# 印南町4Hクラブ活動紹介

印南町の皆様、こんにちは！

当クラブは、昭和43年から続く、歴史あるクラブで、多くの卒業生が印南町の農業の担い手として活躍しています。

「4Hクラブ」の名前を、初めて聞かれる方も多いと思いますので、簡単に紹介します。

「4Hクラブ」とは、農業青年が自らを磨き、より良い農業・農村を創るために必要となる

**Head (頭脳)**

**Hands (技術)**

**Heart (心)**

**Health (健康)**

の頭文字をとったものです。全世界の70以上の国と地域に広がり、日本国内では、約850クラブ、約1万3千人が活動しています。

現在、当クラブの会員は5名と少数ですが、次

のような活動を行っています。

## ① プロジェクト活動

印南町農業の課題の中からテーマを選定し、解決に向けた取り組みを行なっています。これまで野菜・花きのPR活動、地元児童への農業啓発、鳥獣害対策等に取り組んできました。これらの活動は、毎年開催される青年農業者会議において発表しています。

## ② 研修会

日本各地の先進地を訪問し、農業技術の習得や最新の農業情報を収集することで、広い視野を身につけています。また各種研修会に積極的に参加しています。

## ③ 仲間づくり

町内外のクラブ員や新規農者との交流を深め、仲間づくりを行っています。ひとりでは解決できないようなことがあっても、相談できる仲間がいると心強いです。



印南町4Hクラブでは、新規入会者を募集中です。若い農業者の皆様、私達と一緒に楽しい農業を目指しませんか！まずは、月1回の定例会に、気軽に遊びに来て下さい。ご参加お待ちしております。



# あともがき

西日本を中心に記録的な豪雨に遭われた皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、国内外スッキリしない数多くの問題が続いています。オウム真理教の麻原はじめ元幹部の死刑執行の余波、米朝会談の行方、紀州ドンファンの結末、未だブレイキがかからない人口減少問題等、キリがありません。わが町においては、民間活力利用の賃貸住宅建設を計画し、平成30年度中に入居募集を目指しています。これが人口減少の歯止めになるよう、期待したいと思います。

(藤本 記)

TEL 42-1739  
FAX 42-8055

## 議会広報特別委員会

委員長 中島 洋  
副委員長 古川 眞  
委員 藤本 良昭  
委員 前田 憲男  
委員 杉谷 克彦  
委員 玉置 考祥

## 〈現会員〉

会長 新谷 力  
副会長 村上 弘樹  
会 計 尾曾 匠  
中村 優基  
西山 和克

## 【お問い合わせ先】

日高振興局  
農業水産振興課  
0738-24-2930